

石神井東小学校・富士見台小学校・石神井東中学校 学習指導研究会（国語） 課題改善カリキュラム

	話すこと・聞くこと 伸ばしたい力	具体的な活動例	課題改善の視点
小学校	低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ 身近なことや経験したことなどから話題を決め、いつ、どこで、だれと、どうしたを入れて話す。 ○メモ スピーチするための簡単なメモを書く。（はじめ・中・終わりを使得って） ○質問やクイズ 話の内容をとらえて感想や質問を伝える。また、友達から感想カードをもらうなどして交流する。スピーチの終わりにクイズなどを取り入れ、最後まで聞く力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音読や読み聞かせを行うことで語彙を増やす。 ○スピーチを取り入れ、話す聞くの素地を養う。 ○話を聞く姿勢を継続して指導する。
	中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ クラスで話題を決めて、朝の会などで話す。3年「伝えよう楽しい学校生活」 ○聞くこと 朝会などの校長先生の話の後から確認する。3年「よい聞き手になろう」 4年「聞き取りメモの工夫」 ○話し合い 色々な教科で話し合い活動を取り入れる。話題に沿って話す。話題に合った質問をして話し合いを深める。4年「よりよい話し合いをしよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会でスピーチを行い、話したり、適切な質問をしたりできるようにする。 ○「はじめ」「中」「終わり」に気を付けることで、相手に分かりやすい話し方をする。 ○話の中心を確かめる活動を取り入れて、聞く意識を高める。
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ(日常的指導) 身の回りの出来事に興味をもち、気になった記事を選び、選んだ事由を明確にしながら自分の考えを伝える。 ○学級討論会をしよう。 互いの立場や主張をはっきりと捉え、話し合い活動をする。 ○学級会(特活) テーマに沿って自分の考えと理由を明確に伝え、互いの考えを生かしながら建設的な話し合いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○両者の考えを生かしながら新たな考えを出したり、話し合いをまとめたりする力を養う。 ○学年に応じた話の広げ方や、より意図や内容が伝わりやすい話し方になるような工夫を身に付けさせる。
中学校	中学校1年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ 相手を意識しながら話し、自分のお気に入りの物や言葉を筋道立てて紹介する。 ○討論 相手の意見との共通点や相違点などを踏まえながら話し合い、自分の考えをまとめる。 ○インタビュー 相手の反応を踏まえながら、記録したり質問したりし、聞き取ったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校からの指導を受け、中学校でも年間を通じて音読・暗唱などに取り組み語彙を増やすとともに、声を出し話す基礎を養う。
	中学校2年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ(ブックトークなど) 自分の好きな本を紹介し、その本の魅力を相手に伝え、互いに読書活動の活性化を図る。 ○討論 文学作品の読み取りなどを行う際、主題やモチーフに関する自分の解釈を述べ、自分の考えを深め論文を書くことにつなげる。 ○歌会 それぞれが創作した短歌を相互評価し、自分の創作に活かす。温かい目で良い点を評価し、互いにたたえ合うことで創作意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友人の意見を聞き取り、それを自分自身の話す・書く活動に活かし、考えを深めさせる。
	中学校3年	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ(ブックトーク) 本の魅力や自分の思いがより効果的に伝えられるように、構成や話し方を工夫する。また、聞き手の反応など、その場の状況にも応じられるようにする。 ○討論 (企画会議) 社会生活の中から話題を決め、説得力のある発言になるように経験や知識を整理したり、効果的な表現を工夫する。また、課題の解決に向けて、互いの考えを生かせるように進めていく。 	